



発行 青森市横内市民センター  
〒030-0132 青森市横内字亀井 28-2  
TEL 017-738-8723  
FAX 017-738-8726

## 横内市民センターまつり ★ 盛大に開催 11月2日(日)

### イベント満載のセンターまつり

横内市民センターまつりが11月2日(日)9時半、館山義光横内市民センターまつり実行委員会会長の「たくさんのイベントを用意しています。大いに楽しんでください。」というあいさつでスタートしました。

横内小、横内中、うとうの園、市民大学、各クラブの作品展示。ゲームコーナー、バザー、軽食販売、喫茶コーナー、健康チェック、手芸・陶芸作品販売等のイベントが盛りだくさん。食券を求める

長い行列もできていました。多くの来場者があり、館内をじっくりと見て回っていました。

### たくさんのスタッフに支えられて

まつり運営に携わるスタッフの皆さんは、前日、あるいは当日早朝から、実に楽しそうに来場者を迎える準備をしていました。スタッフの皆さんの活気ある動きで、来場した皆さんはセンターまつりを気持ちよく楽しんでいました。

最後に、恒例の「横内音頭」を体育館にいる全員で踊って、盛況のうちに終了しました。

#### 展示発表から

多くの催しの中から、一部だけになりますがご紹介します



太極拳



レクダンス



新体操



バレエ



アカペラ歌唱



舞踊

#### 展示発表から



横内小学校 児童の作品



うとうの園の作品



横内中学校 生徒の作品



市民大学の作品

#### 多くの来場者で賑わったまつり会場



前日の雨も上がり、多くの地域の皆さんがセンターまつりに訪れ、展示作品をじっくり鑑賞したり、イベントに参加したりしていました。

運営に携わるスタッフの皆さんの笑顔がセンターまつりを盛り上げていました。



## 大人気の「横内地区のふしぎ発見！」講座

人気講座の「横内地区ふしぎ発見」第5弾は「堤弾正と横内城跡」です。豊富な知識と巧みな話術で大人気の神社仏閣再発見歴史研究所所長坂本則秀さんを講師に迎え、男女15人が参加して開催されました。

## 文献資料を鵜呑みにしない

講座の冒頭に「まだ謎の残る堤氏」と述べ、資料を使いますが、南部と津軽両藩の記録に違いがあります。資料を鵜呑みにせず、批判的に読み解くことが大事だと話されました。

## 津軽を支配していた南部氏

津軽地方を支配することになった南部氏は、外ヶ浜の横内に堤弾正光康、油川に奥瀬善九郎など、津軽の要所に一族の者や命令に従う武士を置いて、治めることにしました。

よく耳にする南部氏は、「戦国時代に勢力を拡大した三戸南部氏」と「この系列で利直の子・直房から始まる八戸南部氏」、「三戸南部氏と兄弟関係にある根城南部氏=のちの遠野南部氏」の3つがあります。

## 光康を「津軽郡代」として外ヶ浜堤浦へ

15世紀後半の三戸南部氏の内紛を収め、統一を果たした南部氏20代信時は、自らの四男田子光康を「津軽郡代」として外ヶ浜堤浦（現在の青森市堤町を中心とした河口一帯の地域）に入部させて津軽支配の強化を進めました。その後三戸南部氏は、戦国大名への脱皮を進め北奥羽最初の本格的な山城「新三戸城」を築城し、本格的な戦国大名の時代を迎えました。

## 横内城跡での実地見学

徒歩で横内市民センターから、横内城跡の常福院へ移動（約10分）しました。山門前にある横内城の歴史を記した案内板を見ながら坂本さんの解説を聞き、3代城主堤弾正則景夫妻の墓所を訪れました。4代弾正の時に津軽為信の外ヶ浜攻略を受け討ち死にし、その後、城が廃城となったということでした。

参加者は、実地見学もあり笑顔で楽しく学んで、満足そうでした。

3代城主 堤弾正則景と朝日御前の墓所で説明を聞く参加者



## 市民センターから

## 青森市民大学2年 大住さんへ突撃インタビュー！

Q：入学のきっかけは？

A：横内市民センターの体操の仲間からお誘いされたのよ

Q：現在の青森市民大学・大学院 横内校の雰囲気は？

A：みんな自分の意見を持っていて、割と活気がある人も多いから楽しい！（笑顔）

Q：最後に一言！

A：おとなしい・静かすぎる学級は、きつとつまらなくなるから、来なくなると思う。

そしたら、出席者が減る→在籍人数も減る→市民大学が…って、負の連鎖になると思うから、賑やかで活気がある方がいいよね♪



## お勧め講座・イベントのご案内！（1～2月）

## ～寒仕込み かんたんみそ作り～

開催日：1月24日（土）

講師：アロマとハーブと石けんの教室

さち 主宰 高村 智子

対象：18歳以上

会場：1階 調理室

定員：10名

参加費：1,000円

準備物：エプロン、三角巾、布巾、手拭きタオル、筆記用具、持ち帰り用袋

※当日朝食は納豆不可/完成品約500g



## ～ロコモ予防体操と脳トレ

## 南地域包括支援センター編～

開催日：2月16日（月）

講師：南地域包括支援センター

センター長 藤井 有美

対象：18歳以上

会場：2階 和室（大）

定員：15名

参加費：無料

準備物：運動しやすい服装、汗拭きタオル、水分補給用飲料



## 編集後記

第3号では、学習成果の発表の場となる市民センターまつりの様子を一面で紹介しました。芸能発表をする生き生きとした顔やレベルの高い展示作品等は、これまでの学びが十分に発揮されたものとなっていました。今後も市民の皆様の学習活動等の様子を発信していきたいと思ひます。

## 〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F

青森市生涯学習推進員室

TEL 017-734-0164（内線36）

横内市民センター担当：須藤、横内